

## お知らせ

### 講座・展示のご案内

#### ◆企画展「ちょっと昔のふくい広報写真展」

◎平成23年10月28日(金)～12月21日(水)  
会場:文書館閲覧室

#### ◆県史講座

◎平成23年11月26日(土) 13:30～15:30  
「写真でみるスキー百年  
ーオーストリアから大野まで」  
講師:新井 博 氏(びわこ成蹊スポーツ大学教授)  
会場:図書館多目的ホール

◎平成23年12月17日(土) 13:30～15:30  
「若狭の水産業 いまと昔」(仮)  
講師:藪本 金一 氏(県立若狭東高等学校長)  
会場:パレア若狭研修室

#### ◆講演会

◎平成24年2月4日(土) 13:30～15:30  
「記憶を記録にーオーラル・ヒストリーの射程」  
講師:中村 尚史 氏(東京大学社会科学研究所教授)  
会場:図書館多目的ホール

※県史講座、講演会は申込み不要です。



## ご利用案内

- 開館時間  
午前9時から午後5時まで
- 休館日  
月曜日(休日は除く)  
休日の翌日(土、日、休日は除く)  
文書等点検期間(年間10日以内)  
年末年始(12月28日～1月4日)  
清掃整理日(12月以外の第4木曜日、休日の場合は翌日)

■ フレンドリーバス(無料)をご利用ください。

## 研修室をご利用ください。

- 文書館の研修室(定員40名)を会議や打ち合わせなどに利用できます。
- 使用する半年前の月の初日から予約を受け付けます。詳細などお気軽に文書館にお問い合わせください。



## 編集後記

たより第18号をお届けします。今号では、広報写真を特集しました。今後も文書館に親しみをもって利用していただくために、さまざまな取り組みを行っていきます。



# 文書館だより

Fukui Prefectural Archives



▲「(皇太子殿下北陸行啓記念絵葉書)」1909年(勝見宗左衛門家文書 B0037-00722) 当館蔵

## 第18号目次

特集 ふくいの記録 県広報写真	2
公文書紹介 朝倉氏遺跡活用検討会資料	4
寄贈資料紹介	5
活動報告	6
お知らせ	8

第18号  
2011.11

福井県文書館

文書館だより Fukui Prefectural Archives 第18号

平成23年11月2日発行  
編集・発行/福井県文書館  
〒918-8113 福井県下馬町51-11 電話 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891  
ホームページアドレス <http://www.archives.pref.fukui.jp>  
電子メールアドレス [bunshokan@pref.fukui.lg.jp](mailto:bunshokan@pref.fukui.lg.jp)



# 特集

## ふくいの記録 県広報写真

文書館では、県の広報用に撮影された写真とそのフィルムを広報課から引き継いでいます。昭和30年代から平成10年度までの約28,000点のうち、整理のすんだ約7,000点が公開されています(平成23年10月現在)。県内全域にわたり、多くが撮影年月日や撮影場所・できごとがわかる好資料です。

公開されている写真は文書館ホームページから検索できます。

### 写真簡易検索

文書館HPトップ >> 目録データベース >> 写真

から写真の検索ページに入ります。

探したい写真のキーワードを入れて検索実行をクリックすると、キーワードを含む写真一覧が表示されます。

(キーワードに「広報」と入力すると、広報写真の全件がヒットします。)

写真一覧の中から、見てみたい写真番号をクリックすると、写真名、年代とともに画像を見ることができます。

文書館HPトップ

目録データベース

写真

から写真の検索ページに入ります。

探したい写真のキーワードを入れて検索実行をクリックすると、キーワードを含む写真一覧が表示されます。

(キーワードに「広報」と入力すると、広報写真の全件がヒットします。)

写真一覧の中から、見てみたい写真番号をクリックすると、写真名、年代とともに画像を見ることができます。



こんな時に広報写真を利用してみませんか。

- 例 ・学校の社会科・総合学習などの授業で
- ・学校祭の展示で
- ・まちづくりの資料として
- ・記念行事で
- ・地域の催しで

一部、パネル化されているものもあり、貸出できます。



画像を出版物などに掲載する場合は申請が必要です。掲載に適した鮮明な画像を提供できます。ご相談ください。



## 講座・研修会

### ◆古文書入門講座

5月21日(土)、28日(土)、6月4日(土) (3回シリーズ)

講師：文書館職員

変体がなや基本的なくずし方・言い回しを学んだ後、県内に残る近世の古文書に挑みました。また、昨年度に引き続き、7月には若狭町でも入門講座を実施しました。

### 参加者の声



- ・難しかったけどさらに興味がわいた。これから自分でも勉強を続けたい。
- ・福井県に実際に残っている文書がテキストに使われていて、興味深かった。
- ・家にはかなりの古文書があるので、ぜひ完読できるようにしたい。



### ◆古文書読解講座

毎月第4金曜日

古文書がある程度読めるようになった中級者の方を対象に、毎月1回古文書の輪読をしています。現在は、府中本多家が直接支配していた二日市村(現福井市)の大庄屋日記「文久四甲子年日録」(A0052-01418 加藤竹雄家文書)を読み合っています。

講座の参加者を募集していますので、お気軽に文書館へお問い合わせください。

### ◆資料保存研修会およびラウンドテーブル

6月9日(木)

講師：中島 郁子 氏・有友 至 氏(独立行政法人国立公文書館修復室)

前半は、県下の文書等の保存環境について意見交換(ラウンドテーブル)を行いました。後半は、古文書のみならず、現代の資料にも応用できる破れや虫損の繕いなど基本的な補修の仕方についての研修を行いました。

### 参加者の声

- ・マニュアルどおりではなく、具体的に、さまざまなケースに対応した指導でよく理解できた。
- ・古文書はふだん扱わないが、「どこに」「何を」「どのように」保存するというポイントさえわかっていなかったもので、参加できてよかった。



### 新たに公開した古文書紹介

前号紹介後に新たに公開した資料群は以下の通りです。(寄贈・寄託文書は除く)

- A0173 中瀬功也家(福井市)
- G0022 小林弥平家(越前市)
- I0025 大倉清左衛門家(大野市)
- I0060 原健男家(大野市)
- E0042 正覚寺(越前市)
- G0035 赤谷吉左衛門家(池田町)
- I0027 嶋田次郎右衛門家(大野市)
- M0002 敦賀商工会議所(敦賀市)

## ◆◆◆活動報告◆◆◆

### 今年度の新たな取り組み

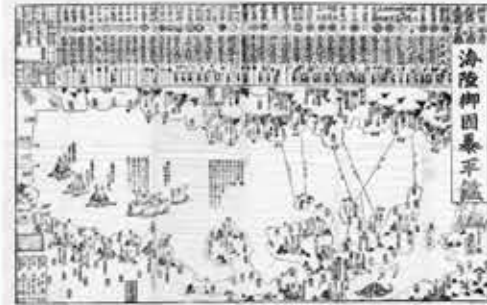
#### ◆授業に役立つ資料複製シート

福井市内の小学校で、初めて絵図の複製シートを用いた授業が行われました。  
6年生の社会科の授業で、ペリー来航の学習に瓦版の絵図が用いられ、授業後は、廊下に掲示されました。

#### 担当の先生からの感想



・ペリー来航が一般市民にも広く知れ渡ったことを示す貴重な資料を目の当たりにできて嬉しかった。  
・児童は授業の後すぐにシートを囲み、「越前守」やたくさんの「松平」などに驚きの声をあげていた。児童の興味・関心を高めることができ、大成功だった。



▲授業に使われた「海陸御固泰平鑑」  
1853年(嘉永6) 福井県立図書館蔵



#### 複製シート ふえました。

従来のすごろくシート20点に加えて、新たに地図や絵図などの複製シート22点を作りました。文書館では学校・公民館を中心にシートの貸出しや出前講座を行っています。

◀「若越両国全国」1897年(明治30) 吉川充雄家文書(当館蔵) C0037-00112

#### ◆公民館との連携

福井市内の公民館において、すごろくシートを用いた昔遊び体験講座を行いました。公民館と連携した企画は初めてのことで、地区の子どもたちとその保護者が、100年前のカラフルなすごろくや、江戸時代の和算のパズルを楽しみました。



#### 学校との連携

#### ◆中学生職場体験

カウンター体験や資料整理、書庫管理など2日間にわたり、文書館での仕事を体験しました。



#### ◆教職員対象研修講座

県内の教職員を対象に、変体かなの読み方の基礎や、郷土資料の活用法に関する講座を実施しました。



## 企画展示のご案内

文書館ではこれまで7回にわたり、月替展示で明治から昭和にかけての写真・刊行物とともに県内各地域のすがたをふりかえる展示を実施してきました。その総集編の意味もこめ、企画展示「ちょっと昔のふくい広報写真展」を開催しています。各地域のようすや、自然災害・イベントなどで写されている県民のすがたや暮らしの変化をたどります。また、広報写真から1年1枚を選んで、ふくいの戦後60年のあゆみをふりかえるタベストーリーも展示しています。

期 間:平成23年10月28日(金)~12月21日(水)

場 所:文書館閲覧室



▲若狭湾が国定公園に指定 1955年



▲北陸トンネル開通 1962年



▲三八豪雪 1963年



▲福井国体 1968年



▲献上かに 1973年



▲こどもの国開園 1973年

表紙写真:「(皇太子殿下北陸行啓記念絵葉書)」1909年 勝見宗左衛門家文書 B0037-00722 当館蔵

1909年(明治42)9月18日から23日の間、皇太子が北陸行啓で来県されました。

この絵はがきは行啓を記念して作られたものです。福井駅前の緑門の周りに大勢の人々が集まっており、歓迎のようすがうかがわれます。

この他に、行啓先である新田義貞戦没伝説地や足羽山公園の風景、小学生による「ほうげい(奉迎)」の人文字などが写された絵はがきもあります。



地域のようすがわかる  
古写真はありますか?

写真は歴史を後世に伝える貴重な資料です。お手元に地域のようすがわかる古写真がありましたら、文書館までお知らせください。

## ◆◆◆ 歴史的公文書紹介 ◆◆◆ 朝倉氏遺跡活用検討会資料

II 誘客の促進	
1 朝倉氏遺跡PR関連事業【観光振興課】(H14~15)	
関連事業内容	備考
旅行エージェント招待(16名参加)、週刊誌・旅行雑誌に記事広告掲載、モニターバスツアー開催、観光周遊バス運行補助、観光リーフレットの作成、ウォークラリーの開催	佐々木小次郎を活用した福井県イメージアップ事業の一環として実施。 ※朝倉氏遺跡単独での売出しではない。
2 便益施設の設置・運営(H16)	
仮設茶店の設置【文化課】、茶店設置者への講習【観光振興課】	
3 旅行エージェントの活用(H16)	
朝倉氏遺跡を組み入れた旅行商品の造成【観光振興課】 文化施設旅行クーポン取扱手数料【文化課】	
4 PR活動の強化(H16)	
移動企画展の開催【文化課】、ネット・旅行雑誌等への掲載【観光振興課】	
5 資料館と復原町並の共通入場券の発行【文化課】(H16)	
6 地元イベントの開催	
①ホテル祭(毎年7月中旬) ②越前朝倉戦国まつり(例年8月下旬)	

▲一乗谷朝倉氏遺跡を活用した地域戦略(部分) 2003年度 33007-12 教育庁文化課

今回は、最近話題になっている福井県内のある観光スポットに関する歴史的公文書を紹介します。「京都にはない…」の広告で一躍有名になり、県内外から多くの人を呼び込み、今、県内で最も活気ある観光地ともいわれる「一乗谷朝倉氏遺跡」です。

文書館では現在、朝倉氏遺跡関係の歴史的公文書を簿冊で14冊所蔵し、また、同遺跡関係の写真も多数所蔵しています。

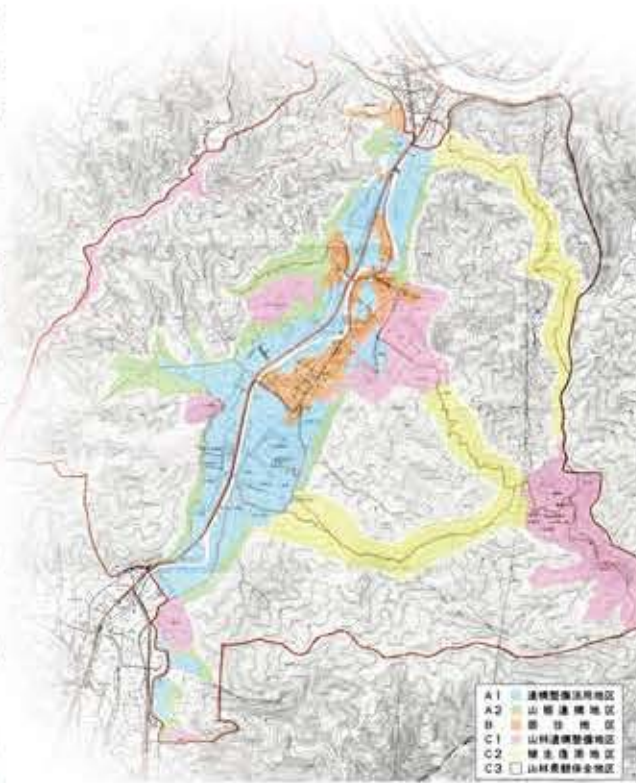
貴重な歴史的遺産である一乗谷朝倉氏遺跡については、1967年(昭和42)から発掘調査および環境整備がなされてきました。

一乗谷朝倉氏遺跡は、遺跡全体が国の特別史跡に、庭園群(湯殿跡庭園・南陽寺跡庭園・諏訪館跡庭園・朝倉館跡庭園)が国の特別名勝に、出土品が国の重要文化財に指定された、全国的にもまれな三重指定の名所旧跡です。

この資料は、県、福井市、保存協会、および福井商工会議所などで構成された「朝倉氏遺跡活用検討会」での議論内容に関する記録です。同遺跡を核とした観光資源を本県のイメージアップにどう活用していくのかなどの地域戦略が、コンパクトにまとめられています。

内容として、①町並立体復元などの環境整備、②PR事業や旅行エージェンシー活用などの誘客の促進、③電柱の地中化などの景観整備、④公共交通機関の利活用などの交通アクセスの改善が示されました。

指定された地域は、右図のように遺跡保存のために強い規制がなされ、広告のように「何もない…」風景を醸し出しています。



▲「現状変更に係る地区割り」  
「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡」1994年3月所収 330007-13



## ◆◆◆ 寄贈資料紹介 ◆◆◆

複製本ができたものから公開しています。

### ●乾徳第八自治会文書(A0172)

福井市乾徳地区の住民によって組織された自治組織、いわゆる町内会の資料です。

1930年(昭和5)から始まる町費出納簿では、会費や電灯(街灯)料・神社祭礼費など長期にわたる支出の変化が読みとれるとともに、ゴミ収集代・殺虫剤・各種献金・義捐金・防空費等、限られた時期にのみ支払われているものもわかります。



▲「町費出納簿」

A0172-00001

### ●井土吉郎家文書(G0043)

大本村(現池田町)は足羽川の支流、部子川上流の山間部にあります。

井土家は、1880年(明治13)ごろから84年にかけて大本村の学務委員を務め、資料群は、大本小学校の経費算用帳や小学校費取立簿など学事関係資料を中心とする11点です。



▲「学費 十三年自十一月至十二月 割賦取立簿」  
G0043-00003

### ●市橋平吉家文書(G0041)

東庄境村(現越前市)は、日野川支流の服部川が流れる谷の入口に位置します。この地域は江戸時代には、山野に自生する漆の樹液を採集する職人「漆掻き」が比較的多く、関東まで出かけていました。

市橋家は漆屋を名乗り、足利・館林・鹿沼方面で漆掻きを行っていたようで、資料群の大半は19世紀に入ってから漆掻き関連の大福帳、仕入帳、金銀出入帳や田畑小作おろし帳などの経営資料です。



▲「野州南摩漆木数覽帳」  
G0041-00145

### ●伊藤三郎左衛門家文書(10058)

御領村(現大野市)は、大野盆地の東部、経ヶ岳の溶岩堆積地のほぼ中央部にあります。伊藤家は江戸時代には庄屋役など村役を務め、明治期には伊藤淳氏が県議員・衆議院議員を務めました。

江戸時代には複数の大名(あるいは幕府)が一村を分割して領有した「割郷」であったことにより、年貢や争論資料にも特色がみられます。

さらに今回寄贈された中には、県史編さん時に調査できなかった近代資料や蔵書・写真なども含まれています。



▲(伊藤淳)「日記 第五号」  
10058-00298